

市町村制度融資担当者に聞く

中小企業の未来をひらく

吉岡町
YOSHIOKA TOWN

制度融資

地方創生の流れの中で、地域経済において市町村が果たす役割が、これまで以上に大きくなってきています。本連載では、群馬県内各市町村の、制度融資担当者に登場していただき、制度融資を中心に、中小企業施策全般について、考え方や方向性、具体的な施策等をお伺いします。
今回は、吉岡町産業建設課産業振興室を訪れ、齋藤室長、高橋係長にお話を聞いてきました。



GUEST

齋藤智幸 様

産業建設課産業振興室
室長

高橋裕子 様

産業建設課産業振興室
係長



産業建設課の皆さま

後列左から、今井主事、松岡主事補、布施主事、
高柳主任

前列左から、齋藤室長、高田課長、高橋係長

Q. 中小企業施策の基本的なコンセプト・考え方等をお教えてください。

吉岡町は群馬県のほぼ中央に位置し、榛名山南東の山麓と利根川地域に展開しています。前橋市へと続く吉岡バイパスの整備や上毛大橋の建設など交通網の拡充と共に発展著しく、前橋市や高崎市で働く子育て世帯のベッドタウンとして人口も増加しており、増加率は県内一を誇ります。

国道17号線前橋渋川バイパス沿いにあります「道の駅よしおか温泉」からは、利根川のせせらぎと雄大な赤城山を臨み、シンボルである風車とともに豊かな景色が堪能できます。道の駅には、地下1,300mから湧き出るアルカリ泉を源泉とする温泉「リバートピア吉岡」、地元の新鮮食材がそろった「物産館かざぐるま」、パークゴルフや様々なスポーツが楽しめる「緑地運動公園」などの施設があります。ドライブ時の休憩やお近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

本町の産業は、大型ショッピングセンターを中心に商業（卸売・小売業）の構成比が高く、製造業は中小規模の工場が大多数です。また、ベッドタウンとしての需要が高いためアパート経営などの不動産業も盛んです。

本町は、「住みよい魅力のあるまち」を目指し、まちの将来像を「キラリ よしおか 一人と自然輝く 丘の手タウン 吉岡町 ー」としています。吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「地域資源を活かした産業や交流を応援するまち」として、自然や文化、歴史など「吉岡」の地域資源を活かした地域交流や経済活動を支援し、「選ばれ続けるまち吉岡」としての町のブランド力を高めるとともに、それらの活動を地域の雇用の場の充実にもつなげ、若者や子育て中の女性、高齢者等の就業の場の確保を目標としています。

Q. 中小企業向け制度融資メニューをお教えてください。

○小口資金融資

運転資金・設備資金調達のための県町協調の制度融資で、保証料補助があります。

融資限度額は1,250万円、融資利率は3.0%以内です。

主な制度融資の保証実績 (単位:件、千円)

制度名	年度	保証承諾		保証債務残高	
		件数	金額	件数	金額
小口	29年 8月末	8	44,790	71	240,325

Q. 特徴的な制度融資、おススメの制度融資があったら教えてください。

○中小企業制度資金借入金利子補給

小口資金、特別小口資金、労働環境整備資金、群馬県商工貯蓄共済融資資金を借り入れた中小企業に対して5年間（群馬県商工貯蓄共済融資資金は対象限度額300万円、3年間）、2.0%以内において利子の一部を補給しています。

Q. 制度融資以外の、中小企業や創業者向けの施策を教えてください。

○「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（市町村・県パートナーシップ支援型）」

県と連携して、「新技術」や「新製品」の開発を支援するため、研究開発費の一部を補助する制度を実施しています。

○創業支援

平成27年度に策定した「創業支援事業計画」に基づいて、相談窓口を設けています。また、町商工会の経営指導員による個別相談や県商工会連合会開催の「ぐんま創業スクール」など、支援機関と連携しています。

Q. 今後の中小企業施策や制度融資に対する思いを教えてください。

人口増加という恵まれた環境にあるものの、実際に本町内にて就労している人口は少なく、産業振興の面ではまだまだ課題を残していると思っています。

今後も制度融資、新製品開発支援及び創業支援の充実を図り、商工会等の関係機関のご協力をいただきながら、町内中小企業の活性化に繋がるよう努めていきたいと思っています。